

夢ある新しい岡崎へ

1期目の公約に掲げた乙川リバーフロント地区整備計画やJR岡崎駅周辺整備などの大型事業が、いよいよ形となって表れてきました。しかし、様々な機会で作せられる質問、要望の中には、これらの事業に対し、誤解されている部分もあることから、市民の皆さんに正しく認識してもらう必要がある



夢ある新しい おかざき Dream Okazaki



岡崎市長
内田 康宏

と感じました。そもそもリバーフロント地区整備事業は、人道橋の建設だけでなく、中央緑道・籠田公園周辺を始め、乙川河川敷の整備、東岡崎駅前再開発などの乙川周辺の整備全てを含むものです。それがなぜか人道橋を造るために100億円掛かるといった誤解や数字が独り歩きしています。人道橋整備だけでいえば21億円で、総事業費の4割近くは国の補助金で賄われます。我が国は既に人口減少社会を迎えています。引き続き、福祉や防災、教育といった基本施策の充実に取り組みなから、本市のこれからの100年の礎を築くため、未来を見据えた持続可能なまちづくりを進めていかなければなりません。市民の皆さんが将来にわたり安心して暮らせるよう各種事業を積極的に推進していきますので、ご理解とご協力をお願いします。